

## 令和3年度 芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	Tutti 音楽 I (教育出版)						
副教材等	なし						

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の4領域で音楽的基礎能力を広く身に付け、感性を磨き、音楽をより深く知り、味わってもらいたいです。
- ・学習の到達度は、授業で配布する練習ノートや実技テストで評価します。
- ・音楽の学習は選択者のメンバーで協力しながら、授業のムードを創っていくきます。その中で、協調性を養い、友達と音楽を創り上げていく喜びを体験してもらいたいです。
- ・高校の音楽の授業が、みなさんが生涯ずっと音楽を愛好し続けていくきっかけになればと思います。

## 2 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱・器楽・鑑賞の学習に取り組む。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱・器楽・創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽を作るかについて表現意図を持つ。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱・器楽・創作の技能を身に付け、創造的に表現しようと取り組む。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴く。
評価方法	観察 練習ノート	観察 練習ノート	実技テスト テストの記録（自分の演奏について・友達の演奏についての感想文）	観察 音楽理論プリントの完成 鑑賞シート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学 期	豊かな声を出そう！～出会いの歌～	【歌唱】 翼をください 校歌1番 今咲き誇る花たちよ 花は咲く【二部合唱】	○	○	○	○	a: 歌う喜びを味わい、イメージを持って歌うことに主体的に取り組もうとしているか。 b: 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもって取り組ませる。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けたか。 d: 歌詞の内容及び曲調にふさわしい表現を追究させる。	観察 練習ノート 実技テストの記録
	楽典と創作	【楽典】 記譜法の習得 音程・リズムの理解 旋律の創作 (簡単なCM曲の創作)	○	○	○	○	a: 身近な旋律を記譜し、楽曲の構成に関心を持ち、それらを活かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしているか。 b: 音色やリズムなど音楽を構成している要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や曲想を感受し、どのように演奏するか表現意図をもって取り組もうとしているか。 c: キーボードの音色や弾き方の要点を活かした技能を身に付け、創造的に奏しようとしているか。 d: 参考例の楽曲を鑑賞させ、自作曲にふさわしい音色や表現を追究させる。	観察 練習ノート 実技課題提出 実技課題の発表 お互いの演奏の聴取

1 学 期	鑑賞① 様々なコマーシャル曲のを聴こう！	【鑑賞】 特徴のあるCM曲の鑑賞	○		○	○	a: 楽曲の音色や旋律・リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心を持ち、主体的に鑑賞しようとしているか。 c: 参考楽曲を鑑賞することによって、自分が創作する際の参考にし、イメージをもって創作するための技能を磨くことに役立てているか。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらが生み出す特質や曲想などを感受しながら、音楽に対する理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴いているか。	観察 鑑賞ノート①
2 学 期	ハーモニーを味わおう	【歌唱】 You are my sunshine (ヴォイス・アンサンブル)	○	○	○		a: 曲想と歌詞の内容に関心を持ち、合唱する学習に主体的に取り組もうとしているか。 b: 旋律・ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や曲想を感受し、どのように歌うか表現意図をもって取り組んでいるか。 c: 曲想を歌詞の内容と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技法（発声・言葉の発音・呼吸法・姿勢や身体の使い方）を身に付け、パートのメンバーと協力し合い、創造的に取り組んでいるか。	観察 練習ノート 実技テスト (個別に) テストの記録 演奏の聴取

2 学 期	ギターの基礎・弾き歌いに挑戦!	【器楽】 ギター ハ長調音階 大きな古時計 (旋律奏またはコード奏)	○	○	○	○	a:ギターの音色や基礎的な奏法に関心を持ち、弾き語りで演奏する学習に主体的に取り組もうとしているか。 b:音色やリズムなど音楽を構成している要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や曲想を感受し、どのように演奏するか表現意図をもって取り組む。 c:ギターの音色や奏法の要点を活かした技能を身に付け、創造的に奏しようとしているか。 d:弾き歌いで課題曲を仕上げようと積極的に取り組んだか。 e:模範演奏の動画を鑑賞させ、奏法や弾き歌いの参考にさせる。	観察 実技テスト (発表会形式) 実技テストの記録 演奏の聴取
3 学 期	鑑賞②～ギターの魅力～	【鑑賞】禁じられた遊び アルハン布拉宮殿の思い出	○		○	○	a:ギターの音色や基礎的な奏法に関心を持ち、それらを活かした模範的な演奏を主体的に鑑賞しようとしているか。 c:ギターの基礎的な演奏技能を鑑賞することによって、自分が演奏する際の参考にし、イメージをもって演奏することに役立てようとしているか。 d:楽曲を形づくっている要素を知覚し、それらが生み出す特質や曲想などを感受しながら、音楽に対する理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴いているか。	観察 鑑賞ノート②

ギター二部合奏	<p><b>【器楽】</b></p> <p>ギター二部合奏 「花は咲く」</p>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<p>a:2学期のギターの基礎を応用し、二部合奏に関心を持ち、仲間と音を合わせる学習に主体的に取り組もうとしているか。</p> <p>b:音色やリズムなど音楽を構成している要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や曲想を感受し、どのように演奏するか表現意図をもって取り組んでいるか。</p> <p>c:ギターの音色や奏法の要点を活かした技能を身に付け、創造的に奏しようとしているか。二部合奏で課題曲を仕上げようと積極的に取り組んだか。</p> <p>d:原曲の動画を鑑賞させ、各自の演奏の参考にさせる。</p>	<p>観察 練習ノート 実技テスト (個別) 実技テストの記録</p>
鑑賞③ 日本の音を味わおう！	<p><b>【鑑賞】</b>さくら幻想曲 春の海</p>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<p>a:我が国の伝統音楽の特徴に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしているか。</p> <p>c:箏の模範的な演奏を鑑賞することによって、自分が演奏する際の参考にし、イメージをもって演奏することに役立てようとしているか。</p> <p>d:音楽を形づくっている要素を知覚し、我が国の伝統音楽の特徴や曲想などを感受しながら、音楽に対する理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴いているか。</p>	<p>観察 鑑賞ノート③</p>

箏に挑戦！	<b>【器楽】さくら さくら変奏曲</b>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<p>a: 箏の音色や基礎的な奏法に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組ませる。</p> <p>b: 音色やリズムなど音楽を構成している要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や曲想を感受しながら、どのように演奏するか表現意図をもって取り組む。</p> <p>c: 箏の音色や奏法の要点を活かした技能を身に付け、創造的に奏しようとしているか。</p>	観察 課題プリント と箏体験の 感想文
-------	---------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	---	------------------------------

※ 表中の観点について a:音楽への関心・意欲・態度              b:音楽表現の創意工夫  
                           c:音楽表現の技能                      d:鑑賞の能力

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けてている。